

# 全日本護身武道

## 連盟新聞

平成31年4月〜令和2年

行事予定(2019年)

11月 24日(日)2019フェスタ

12月 8日(日)研修会・理事会

12月 23日(月)本部納会

2020年

1月 12日(日)護身武道演武会

3月 29日(日)研修会・理事会

3月 29日(日)研修会・理事会

### 令和元年 第二・四半期

#### NPO法人全日本護身武道連盟 理事会

#### 第71回理事會

日時 令和元年6月30日(日)

12:20〜15:20

場所 荒川区荒川3の49の1

荒川区生涯学習センター

審議事項

一夏期合同練習会・研修会

実施要項確認の件

二その他

確認事項

第72回理事會

日時 令和元年8月25日(日)

9:30〜12:00

場所 台東区東上野6の16の8

社会教育センター

1階 コミュニティ室

審議事項

一夏期合同練習会役割分担等

二第13回護身武道演武会実施要項等

二その他

### 令和元年 第二・四半期

#### NPO法人全日本護身武道連盟 事務局

#### 1 法人市民税減免決定通知書

企課第189・25 令和元年7月17日

事業年度30・4・1331・3・31

法人市民税均等割額¥50,000

今ひと時は  
再び来ない、  
大切に生かす  
べきである

第72号  
令和元年9月1日

NPO法人  
全日本護身武道連盟  
事務局発行責任

### 令和元年 第二・四半期

#### 青少年育成指導相談室(事務局報告)

個別相談 二件

登校拒否 0件

いじめ 0件

HP相談件数 0件

その他 2件

①登校前に、体調が悪くなる。

②友達が出来ない。

③継続的に暴力を受ける。

### 令和元年 第二・四半期

#### 護身武道研修センター

#### 第79回指導者研修会

日時 令和元年6月30日(日)

15:40〜18:40

場所 荒川区荒川3の49の1

荒川区生涯学習センター

研修内容

級科目・段科目・式段審査科目確認

気合せ・科目外指導

実施項目 2,3,4,1,42,66

67,70,71

その他 式段昇段審査

#### 第80回指導者研修会

日時 令和元年8月25日(日)

13:00〜17:00

場所 台東区東上野6の16の8

社会教育センター

4階 ホール

研修内容

・進行・指揮

・全体把握

・講話等

その他 初段昇段審査

### 令和元年 第二・四半期

#### 護身武道武道研究会

#### 父キル向上への取り組み・研究機関

#### 気合せ

#### 1 親指落

#### 第一関節を巻

#### 垂直に落とす



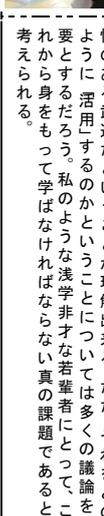
#### 2 指攻落し

#### 仕掛け

#### 1

#### 2

#### 3



### 武段審査 令和元年6月30日(日)

申請者 城北道場 市川大地

護身武道の日常における実践について

平成から令和へと時代が変わったが、依然としてマスコミの報道では陰惨な事件・事故が毎日のごとく報道されている。それは戦後から犯罪率の低下及び治安の向上における社会的事実として認知されにくいコンテクストもあり、世の中が物騒であるという言説が多く見受けられるという事に起因しているからである。

しかしながら、庶民的な生活レベルにおいて、いわゆる物騒なことには自分たちが見舞われたいかというところ、一概には言い切れない。我々を取り巻く環境というのはグローバル化×経済の不安定化により、刻一刻と変革をしているのである。

そうした中でも、特に感情の劣化というものは様々な社会学や政治学者などの社会科学に携わる学者に指摘されており、自分の心の拠り所となるべきコミュニティの欠如により、自分自身を存立させる基盤がないことが問題となっている。そのため、個人個人の心の中に、対象の見えない恐怖、つまりは不安というものが生じて、物騒な現象が生じるのである。

ただ、そうした不安の中で一人茫然自失しても仕方がない。そうした状況の中では、一人ひとりが自主的に心の拠り所となるべき居場所を見つければならぬだろう。そこで重視すべきは、個人の損得勘定による馴れ合いの集まりか、それとも内発的な徳を自発的にベースとさせる集まりかということになる。

当然、私が一番重視しているのは後者の方であるが、自分にとってそれが最も具現化された社会的集団が護身武道小林会であった。なぜなら護身武道に参加なさっている面々が、自分の個別的具体的な事情を捨て置いて、生き生きとした「個」を発現させているからである。

迎合をするわけにはないが、私は、小林館長の指針に感銘を受け、護身武道に自分自身の「個」の拠り所となるべき居場所の一つを見出した一人である。それというよりも、自身として護身武道小林会の日常における自身の調和に重きをかけた姿勢に深く感銘を受けたからである。それは、日常における非日常性、つまりは、いつ何時、自分が非日常の事態に陥るか分からない中で、護身武道がそのための心構えないし即時的な行動の源泉を成熟させてくれるからだという考えが根拠にあるのである。

ただし、即時的な行動といっても、極真空手や柔道のように相手に致命的なダメージを与えてしまう可能性のあるものは、正当防衛の基準が曖昧な日本において望ましくない。だが、合気道のようにある種の型が存在する武道では、相手の不規則な行動に翻弄されてしまう可能性もある。だからこそ、空手や柔道、合気道などを弁証的に総合させた武道が理想であり、私にとっては、それが護身武道小林会であった。このも、護身武道は、空手や柔道、合気道、ひいてはボクシングなどの様々な技術を織り交ぜながら、独自の気合合わせを編み出したからである。

しかし、その実践性において最も共感すべきは、自分から相手を作らないという根本的な心構えであった。武道の「武」の語源を調べると「予」を取めることであるということがわかる。それは、相手を倒すために「予」を本末転倒なものであるということを示している。結論として、護身武道は「武」の道に非常に忠実な武道であることが導き出せるだろう。

以上のことより、護身武道小林会における実践について、精神と身体との平衡を重んじており、日常に起点を置いた実践性のある武道だということが理解出来る。ただ、それとどのように活用するのかがどうにかについては多くの議論を必要とするだろう。私のような浅学非才な者にとつて、これらも身をもって学ばなければならぬ真の課題であると考えられる。

### 実技審査官

長島師範 中嶋本部指導員

面技審査官 平戸師範・瀧井師範

実技・相対者 鈴木隆行式段

### 初段審査 令和元年8月25日(日)

申請者 本部道場 川井信隆

武術と武道について

人を殺傷する術を学ぶ事。人を活かす道を見出すために武術の稽古に日々精進をする事。前者が武術であり、後者が武道である。そしてこの2つの要素が揃って初めて本場の武道が存在する。

傷する術という物騒な話しに聞こえませんが、現実の世界では力無き正義は無能であり、絶対正義は存在しません。これは古今東西 戦勝側が正義であり敗戦側が悪と見られるのが歴史で、その事実から導かれた結論です。

日常に起こりうる状況を想定してみました。世界一安全な文明国と言われていた日本ですら何かを取り巻かれたように凶器を振り回し、無辜の人々や子供達を殺害する事件が頻りに起こっています。もし幼い子供が目の前で命を奪われようとしていて、その惨事を未然に阻止するためには凶器に立ち向かえる相応の武力と勇気が必要です。相手と話し合ったり、逃げたりする事ができない状況では実際の力のみが子供の命を助け、犯人に罪を犯させないようにする事ができるのです。そのためには武術は必殺でなければならず、そして人活術として使わさるべき時に全身全霊で相手を叩く勇気を持たなければなりません。心に迷いが生じた時に放った矢は射る事ができません。状況により手心を加える余裕ができるのは、本気で使えば必ず相手を制する事ができるレベルに到達した者だけであり、生半かな正義感も命取りになる事を肝に銘じなければなりません。

しかしながらたんに殺傷能力(武力)を身につけただけでは殺人マシンを量産しているだけで世のため人のために何の意味もありません。むしろマイナスである。先人は術を道に昇華させた事により人が生涯歩むべき修行の場を武道として切り開いたのです。武道家はなによりもまず強くなければならない。そして求道者のごとく精神的にも肉体的にも辛くても厳しい修行を積み重ねていくことで、礼節を重んじ、人にたいする優しさや思いやりを培う事ができます。

### 実技審査官

長島師範 中武師範

面技審査官 大関師範

実技・相対者

### 実技審査官

長島師範 中武師範

面技審査官 大関師範

実技・相対者



昇段審査



初段・認可状・交付



**開会宣言**  
令和元年夏季合同練習会を開催します。暑いので水分補給を十分にとって熱中症にならないよう気を付けてください。

**館長挨拶**  
ご苦労様です、暑い日が続き生活及び練習に、苦勞していることと思います。夏期合同練習会を開催に当たり、役員各位の力によるもので感謝申し上げます。「自らを見つめ、自らを変化・成長させ、人格を高める」をスローガンとしています。日頃の練習の中で経験できないものを得て、成長していただきたいと思ひます。身近で日常の中でも起こりかねない事件が発生しています。胆・「物事に恐れ驚くことのないよう修養する。」指導に当たり大事にしているものです。己を知り、平常心で事に当たれば必ず道は開けるものと考えています。護身武道家として大切なことです。技と共に、心も鍛えること。お集まりいただいた皆さん、会員の皆様が、護身武道の継承者として活躍していただきたいと思ひます。行事等としての機会を得て、力を蓄えていただきたい。課外講座として、17時以降考えております。実行委員長の指揮・指導のもと、怪我の無いように学んでいただきたい。それでは頑張っていきましょう。

**道場心得**  
有段者心得唱和  
大関先生



**基本練習** 市川副実行委員長  
**師範教室** 6教室

**大関教室**  
夏期合同研修会を終えて  
本部道場の大会です。皆様、夏期合同練習会お疲れ様でした。基本練習に始まり、各先生方の教室、館長教室、乱取り昇段試験など多岐にわたるものとなりました。それぞれが楽しくまた、怪我も無く、皆様が無事に終了した事が何よりです。

**ストレッツ**  
準備体操  
中武先生

**中武教室**  
少し雑談になります。回覧板が回って来るのですが、良い話を書いてあるので、結構読むことがあります。中学校の校長先生の話を、鍛えるという言葉について書かれました。「鍛えるとは、刀を鍛える・体を鍛える・頭を鍛えるなどあります。鍛えるとは、苦しい事、辛い事、痛む事があります。鍛えないと人生に逆境があった時に、乗り越えることが出来ません。夏休みは、だらだらと過ごさず、読書をするとか、運動をするなど何か計画を立てて鍛えましょう。と言う事でした。」我々も、夏期合同練習会を以て鍛えましょう。

**中武教室**  
パターン数種



パターン数種

**乱取り**  
及川師範  
部位別  
・順手首迎え  
・両手首迎え



乱取り

**館長教室**  
護身の技  
護身として子供や女性に最も有効と思われる、松葉打ち(目打ち)、金的蹴りの再認識を。やり方は、わかっているつもりでも何度も練習をして身に付けなければ、実践では役に立たない。実際に面やフルールカップを付けて、当てて間合いを練習する必要があります。今回練習をしましたが、道場に戻ってもたまたに実践形式で練習して下さい。

**講評**  
長島師範  
皆様、お疲れ様でした。今回、師範教室をやりましたが、各師範の色んな話を聞けて大変勉強になりました。これからは続けていければと思ひます。また、乱取りも皆さん、楽しんでいただけたので良かったです。

**閉会宣言**  
瀧井師範  
川合さん昇段おめでとうございます。短い時間でしたが、とても内容の濃い練習会でした。演武会に向けて各自練習し、また合同練習会を閉会いたします。

閉会宣言

**整理・突き・蹴り**  
大関師範

**進行**  
市川武段  
17:00~20:30  
課外講座  
・交流会  
・懇親会

**乱取り**  
進行  
瀧井師範

乱取り

**閉会宣言**  
瀧井師範

**進行**  
市川武段

**乱取り**  
進行  
瀧井師範

乱取り

石川商店(お肉まじり)  
台東区入船1-9-3 初代会場の本店  
TEL:03-6734-720

和菓子処  
千代子館  
千代子館  
台東区入船1-9-3 初代会場の本店  
TEL:03-6734-720

老舗和菓子店  
ひたちなか市  
TEL:029-274-888

滝井商店(すだれ)  
台東区東上野6丁目・会場の本店  
TEL:03-631-0844